



ホームステイ先の家族との楽しい思い出を語る生徒たち

海外生活で貴重な体験

青少年派遣研修事業参加報告会

オーストラリア(アデレード)で研修を終えた盛岡中央高校(3人)とカナダ(バンクーバー)で研修を終えた盛岡大学付属高校(2人)の生徒が1月6日、市役所を訪れ、岡田久副市長に研修成果を報告しました。生徒たちは、約2週間ホームステイをしながら文化の違いを体験し、「最初は不安だったが、終わるころには、日本に帰りたくないと思った」「また外国に行ってみみたい」など感想を述べ、貴重な経験を今後活かしていきたいと決意を新たにしました。

地域住民で防災考える

地域の安全を考えるワークショップ

地域の安全を考えるワークショップが1月21日、寺田コミュニティセンターで行われました。当日は、岩手大学地域防災研究センターの教員が講師を務め、地域の住民など約30人が参加しました。参加者は、県内の台風被害の概要や課題、土砂災害の特徴などを学び、お互いに意見を交換するなど防災意識を高めました。工藤忠義さん(58)＝寺田＝は「災害に対応するためには自主防災組織が必要。事前に準備して人災をなくしたい」と意気込みました。



災害対応時にどう行動するかを話し合う参加者たち



ふうせつ花が「貴まる」で作った豆腐を味わう参加者

特産品へ期待「貴まる」

岩手大学開発品種大豆「貴まる」

岩手大学開発品種大豆「貴まる」を活用した八幡平市の地場産品開発に係る検討会が1月26日、松尾コミュニティセンターで行われました。当日は、大学関係者や市内農家ら約10人が参加。本年の栽培概要や栽培・管理作業上の留意点など報告した後「貴まる」を使った豆腐と納豆を試食しました。参加者からは「豆の味がとても濃い」「なめらかで美味しい」など感想が寄せられ、今後の展開について期待を込めた話し合いが行われました。

新年早々に柔道で交流

寺田柔道教室・柔道スポ少鏡開き交流柔道大会

寺田柔道教室・柔道スポ少鏡開き交流柔道大会が1月7日、寺田柔剣道場で行われました。同大会には、八幡平市、盛岡市、岩手町、葛巻町のスポーツ少年団(寺田・好摩・葛巻・沼宮内)の児童・生徒約50人が参加。階級ごとに分かれてトーナメント戦を行い、日頃の鍛えた技を競いながら、交流を深めました。小学生5・6年の部で優勝した畠山亜岐都君(田頭小6年)は「優勝できてうれしい。来月の県大会でも頑張りたい」と意気込みました。



小学生5・6年の部で優勝した畠山亜岐都君(右)

祈りを込めて一步一步

平笠裸参り

平笠裸参り(市指定無形民俗文化財)が1月8日、行われました。当日は晴天に恵まれ、平笠小学校の児童11人を含む37人が、白装束に身を包み、宮田神社から八坂神社までの約8キロを練り歩きました。平笠裸参りは、江戸時代から続く伝統行事で、戦時中には、出兵した夫や息子の武運長久を祈願し、女性が参加しました。現在は、無病息災と五穀豊穡を祈願する伝統行事となっており、参加者は雄大な岩手山に見守られながら、歩みを進めていました。



雲一つない青空の下で験竿を手に練り歩く女性たち

雪かき活動で助け合い

安代地区スノーバスターズ活動出発式

安代地区スノーバスターズ(中村吉松隊長、隊員22人・2団体)の活動出発式が1月8日、安代福祉センターで行われ、今シーズンの活動をスタートしました。出発式には約30人が参加。小山田美冬さん(安代中2年)は「高齢者の皆さんが、自宅で安心して過ごせるように頑張りたい」と決意の言葉を述べました。当日は積雪が少なく、出発式後は3班に分かれて巡回パトロールを実施。同スノーバスターズは、3月までの毎週日曜日に出動し、作業に取り組みます。



「毎週、雪かきでお邪魔します」と元気に挨拶しました

すなっぶギャラリー



スキージャンプ体験教室では、市内内外の児童15人がジャンプを体験しました(1月9日、田山スキー場)



平館保育園の園児が飾り付けしたミズキ団子が届けられました(1月6日、市役所結のひろば)



友好都市名護市で開催の名護さくら祭りでは八幡平市のPRを展開(1月28日、沖縄県名護市)



七草がゆに見立てた野菜のすいとんを食べて1年の健康祈願(1月6日、大更学童保育クラブ)



手回しオルガンの演奏を祖父母と一緒に楽しみました(1月17日、寺田保育所祖父母交流会)